

松ヶ丘の夏祭り

一中生が4つの模擬店を出店

翌日の後片付けでも欠かせない戦力に

8月6日(土)開催の松ヶ丘納涼夏祭りでは、今年、一中生が4つの模擬店を出してくれました。そのうち3つは松ヶ丘在住の一中生(一中松ヶ丘少年団)が出してくれるもので、他の1つは今年発足した一中ボランティア部の皆さんが出してくれました。



一中松ヶ丘少年団は約30人が学年ごとに分かれ、1年生が磯辺焼き、2年生がフランクフルト、3年生がヨーヨーの店を出しました。



磯辺焼きのチームは餅を焼く人、しょう油を付ける人、餅をパックに詰める人、そのパックを袋に入れ金券と引き替えにお客に渡す人に分かれて流れ作業のはずでしたが、実際は餅が隣同士ひっついたり、餅を箸で引き離すのが難しいので、手で引き離すと熱かったりでなかなか大変。

お客は長蛇の列。これは磯辺焼きの人気が高かった一方で、作業に慣れていなかったためスムーズにさばき切れずにてんてこ舞いしたという一面も。それはそれで、当事者たちは楽し



フランクフルトは、予め茹でずに直接焼いたので、パリパリと香ばしくなり、人気を博しました。



学年ごとの担当割は毎年固定しているので、1年から3年までの間にどの生徒も、磯辺焼き、フランクフルト、ヨーヨーを経験することになります。



祭り会場の後片付けは翌日の日曜日に行いましたが、この時も一中松ヶ丘少年団が手伝ってくれました。松ヶ丘の夏祭りでは一中生は欠かせない戦力になっており、祭りの盛り上がり大いに貢献してくれています。

有難う。これからもよろしく。